

R7年度 消防演習 放水訓練要領

No.	区分	報告・指令・号令	実施細目
1	参集		放水訓練参加隊は、直接参集する。 (設置終了後は、各分団1名を除き演習への参加を考慮し参集する。) (各分団待機1名と技術部員で小型ポンプを始動させ動作確認する。)
2	待機	(挙手敬礼) 「〇〇分団、放水準備完了しました。」 (挙手敬礼) 『よし。』	車両を搬入後、各隊はポンプ、吸管(投入はしない)、ホース(展張)を設置する。 演習参加者の放水隊各団員は、演習終了次第放水会場に向かう。 放水隊各団員が集合したら、吸管を河川に投入し、各小隊長に放水準備が整った事を報告。 その後、ポンプ(車)脇に指揮者、筒先員、機関員、吸管補助員の順番に整列し整列し次の指令を待つ。
3	放水準備完了	「技術部角屋から各局、準備完了の報告をせよ。」 『〇〇小隊〇〇から技術部長、準備完了。』 「了解。」	各小隊長は自分の隊の準備完了を受け、簡易デジタル無線機にて、角屋技術部長に準備完了の報告をする。
4	放水準備完了報告	「放水準備完了しました。」	角屋技術部長は報告を受け、星団長に放水準備完了の報告を行う。
5	開始申告	「只今から放水訓練を開始します。」	星団長は点検者に開始申告を行う。
6	放水開始	「放水はじめ。」 「技術部角屋から各局、放水訓練を実施する。送水圧力0.3Mpaにて放水開始。」 (ラッパ吹鳴)	星団長より角屋技術部長は放水開始の指示を受ける。 簡易デジタル無線にて各小隊長に事前周知をする。(小隊長は口頭にて各隊へ伝達する。) 角屋技術部長が放水開始の白旗を挙げ、「放水はじめ」号令を行う。(号令を受け、ラッパ隊長の指揮のもとラッパ吹鳴) (ラッパ吹鳴と同時に)エンジン始動、放水開始。(送水圧力0.3Mpa)
7	水圧上昇	「技術部角屋から各局、只今から筒先員を2名とし送水圧力0.5Mpaに変更する。」	簡易デジタル無線にて各小隊長に指示をする。(各小隊長は口頭にて各隊へ伝達する。) 筒先員を2名にし、送水圧力を0.5Mpa に上昇する。
8	放水中止	「技術部角屋から各局、間もなく放水を中止する。」 「放水やめ。」 (ラッパ吹鳴) 「放水やめ。」	簡易デジタル無線にて各小隊長に事前周知をする。(各小隊長は口頭にて各隊へ伝達する。) 角屋技術部長は赤旗の合図、「放水やめ。」の号令をかける。(ラッパ隊長は号令を受け、ラッパの吹鳴を行う。) 各隊は、ラッパ吹鳴により放水中止する。 簡易デジタル無線にて各小隊長に放水中止を指示する。(各小隊長は口頭にて各隊へ伝達する。)
9	人員報告	(挙手敬礼) 「〇〇分団、人員機械器具異常なし。」 (挙手敬礼) 『よし。』 「技術部角屋から各局、人員報告をせよ。」 『〇〇小隊〇〇から技術部長〇〇小隊、人員機械器具異常なし。』 「了解。」	操作員はエンジン停止、ホース及び筒先離脱、吸管を上げポンプの排水後(機材はそのまま)放水開始前同様にポンプ(車)脇へ整列する。 各指揮者は小隊長に人員報告 先着順に整列し報告を行う。そのまま各指揮者はその場にて待機 各小隊長は、角屋技術部長に人員報告をする。(簡易デジタル無線にて)
10	人員報告	「放水隊、人員機械器具異常なし。」	角屋技術部長は、星団長に人員報告を行う。
11	終了申告	「放水訓練終了しました。」	星団長は、点検者に終了申告を行う。
12	撤収	「技術部角屋から各局、撤収。」 『撤収。』 「撤収。」	角屋技術部長は、星団長の終了申告終了後、各小隊長に指示をする。 各小隊長は、指揮者に『撤収』の号令をかける。 各指揮者は自隊に戻り、「撤収」の号令をかける。操作員は直ちに撤収作業を行う。